

令和2年度第2回総合教育会議議事録

- 開催日時 令和3年2月9日（火）午後3時00分～4時00分
- 開催場所 本庁舎2階会議室
- 出席者 藤原淳（市長）、鳩岡矩雄（教育長）、槻館行男（教育委員）、菅原ゆかり（教育委員）、佐々木千穂（教育委員）、荒谷直大（教育委員）
- 事務局職員 玉懸邦将（教育部長）、澤田善治（教育部副部長）、山火敏幸（学力向上推進監）、三上敬子（生涯学習課長）、山田善之（文化財課長）、畑本啓子（図書館長）、小野寺一夫（学校給食センター所長）、田中館淳一（総合政策部長）、工藤博幸（政策推進課長）、長畑宏範（教育企画課副主幹兼教育企画係長）、國分知子（教育企画課主任）

1 開 会

（玉懸教育部長）

ただいまから、令和2年度第2回二戸市総合教育会議を開会いたします。

本日の会議の進行を務める教育部長の玉懸でございます。

出席者につきましては、本年度2回目でありますので、お手元の資料1ページに記載しております。ご覧いただきたいと思っております。

それでは、次第に沿いまして進めます。

はじめに、藤原市長がごあいさつ申し上げます。

2 あいさつ

（1）市長あいさつ

（藤原市長）

皆様こんにちは。日頃より大変お世話になっております。また、本日は大変お忙しい中、会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

皆様には、教育の発展だけではなく、まちづくり、地域づくりなど、様々な場面でお会いし、お世話になっているところでございます。今、教育委員会の各事業等を見ますと、教育長さんをはじめ、委員の皆様、職員の頑張りもあると思っておりますが、九戸城、浄法寺の漆、日本遺産、ユネスコの漆掻き等におきまして、大きな事業をやっていただいております。また、新しい時代の流れに沿いGIGAスクールといった教育が進められているところであります。

先週、岩手日報の社長さんとお会いする機会がありました。その時に社長さんは、GIGAスクールへの批判と思いますが、タブレットなど様々なものが今子供たちに与えられるわけですが、これは麻薬と同じだと自分は考えていて、これがそばになれば落ち着いていられないと言っていました。スマホもそう思うのですが、文字からどんどん遠ざかっている。その点、二戸市は子ども新聞などで、文字に親しむ教育をされているので素晴らしいことだとの褒めの言葉をいただきまいりました。外から評価をいただくというこ

とは大変うれしいことで、自分たちが中で評価するのと違って、岩手日報の社長さんなどから高い評価を得たことは大変うれしく思っております。

さて、先ほど開催された、二戸市教育委員会定例会において、「二戸市教育振興基本計画」や令和3年度当初予算などのご審議をされ、議決されたと伺っております。

前回の総合教育会議において、二戸市教育大綱は、二戸市教育振興基本計画の「基本目標や基本的方向性」を基に進めることとしておりましたが、本日、議決されたということですので、その計画に基づき、二戸市教育大綱について協議するということでもあります。どうぞ宜しくお願いいたします。

(玉懸部長)

続きまして、鳩岡教育長がごあいさつを申し上げます。

(2) 教育長あいさつ

(鳩岡教育長)

一言あいさつを申し上げます。

本日は第2回二戸市総合教育会議に対座していただきまして、まずもって御礼申し上げます。

教育委員会におきましては、おかげさまで、当初の計画に沿いまして概ね順調に推移しているところであります。これもひとえに学校現場の努力、あるいは市民の皆様のご理解ご協力、折々に支えていただいたものでございまして、御礼は申し上げているところであります。とは申しましても、教育委員会内部から発信するもの、あるいは、考えられることも限りもございまして。今日は藤原市長の広い眼で、あるいは高い立場でご助言ご指導いただければと思っております。また、委員の皆様もせっかくの機会であります。なかなかこのようにして、市長に面と向かっていろいろな意見を交換する機会はありませんので、今日はどうぞご遠慮なく、いろんな思いをお伝えしていただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

3 議 題

(玉懸教育部長)

それでは、次第の「3 議題」に入ります。

ここからは、藤原市長に議長をお願いいたします。

(藤原市長)

それでは、議題に入りたいと思います。

はじめに、「(1) 二戸市教育大綱(案)」について、事務局説明をお願いします。

(澤田副部長兼教育企画課長)

教育企画課長の澤田です。

二戸市教育大綱（案）について、説明いたします。

（説明）

（藤原市長）

説明が終わりました。皆様からご意見があれば伺います。

〈意見なし〉

（藤原市長）

よろしいですか。

〈「はい」の声あり〉

（藤原市長）

それでは、ご異議なしということで、この「教育大綱案」を正式に「教育大綱」と決定したいと思います。

その他ですが、はじめに事務局から説明願います。

（澤田副部長兼教育企画課長）

只今、二戸市教育大綱を決定していただき、先ほど二戸市教育振興基本計画が議決され、今後5年間の進む方向が決まりました。ここで、スタートの年となる来年度事業の説明をいたします。

（資料1により説明）

（藤原市長）

説明が終わりました。皆さんから忌憚のないご意見を伺いたいと思います。

（槻館委員）

G I G Aスクール、コミュニティ・スクールと新しい時代に入ったなと思っております。どうしても古い考えがつきまとうのですが、直さなければならないと思っています。今の説明にあった二戸市教育大綱の枠囲みの部分で、“地域や学校地域総ぐるみ”とあります。本当に、地域の人、地域のみならずこぞって子供の健全育成を見ながら生活していければ、いろんな子供たちの資質を見ることが出来ますが、今はなかなか学校と地域住民なり、地域の人とかかわりが薄くなると思っています。コミュニティ・スクールで地域のまとまりや意欲が出てくればいいと思っています。ただ、コミュニティ・スクールを作るうえで、いろんな混乱が出てくると思っているところです。

（藤原市長）

地域の中を子どもが歩いていなければさみしい、子供が街中を歩いていることで元気が

出ると私たちは捉えています。街中でも朝は指導員、スクールガード等に出てください、地域で子供を守っていただいていると感じております。昔のように、地域ぐるみというのは少なくなっていると思いますが、地域の中に子どもたちがいて、元気な姿を見せてくれることが、地域の明るい話題になると思います。例えば斗米橋ですが、子供が冬に歩くことが大変だとすれば歩道を広げるなど、登校などは子供たちの安全安心を考えながら地域全体で見守っていくことが大きいと思います。事業の中でも先ほどあった、九戸城と天台寺をみんなに見せるということは地域を知ってもらうために良い事業と思っております。

(菅原委員)

子供の成長を軸に、地域と色々な団体と色々な社会的組織が一つに手を組める大綱ではないかと思っております。大人も成長していかなければならないと思っておりますし、子供の成長とともに、大人も色々な立場で係わることで成長できるのではないかと思います。結果的に先生方の職務が楽になり、時間が作れる形に結び付けばみんなが良いと思います。そういう意味ではこれを推進していくことは素晴らしいと思います。

(藤原市長)

教員の負担は大変になってきています。タブレットを配付することで、先生の負担が軽くなりいろんなことに結び付いていけばよいと思います。

大人の成長の点では我々もなかなか成長できなくて困っていました。時代が変わっていくことを子供とともに認識していかなければならないと思っております。一方で、岩手日報の社長さんが言うように、スマホばかりやっていたら大変なことになるということをおっしゃっていただいたところだと思っております。

今、書道でも、小中高校の皆さんが新しい感覚で書道展に出しているのを見ますが、そういうのは少子化になってきても成長している部分ですか。

(菅原教育委員)

皆さん、書道界の分野では育成にすごく力を入れております。スポーツ界もそうだと思いますが、自分たちが係わる専門の分野が広い意味で育成につながっていくのは良いことだと思います。

今回、生涯学習の分野が抜けているのですが、多分そのようなことも含めて、地域おこしにつながることによって、学習だけではなく生涯教育になっていくということだと思います。

(佐々木教育委員)

1年間コロナがありまして、今までの当たり前や普通がそうではなく、変わるときだと思っております。二戸市においては、お金がないところで教育にお金をかけていただき大変良い形で進んでいると思っております。

(藤原市長)

コロナに関して、当たり前の生活を感謝したい、楽しみにしたいという投稿が新聞記事に載っておりました。

コロナということから、GIGAスクールについても、もっともって時間がかかるものが前倒し、前倒しできて、全国で揃えることに対応していけるか不安があります。機械だけいただいても、それを実際に動かして活用していくことを今後どうしていったらよいか全国で不安を抱えているのではないかと考えております。新しい世の中になると感じております。

昨日、総合計画後期計画を議決いただき、SDGsなど様々これからの世の中がこうなっていくということがあるのですが、それらについても子供たちが引っ張っていくのだということを思いながら進んでくれればと考えております。

コロナは悪い面もありますが、今の前倒しの話や光ファイバーなど、良い面は利用しながら、転んでもただでは起きないという強かにやっていく必要があると考えております。

(荒谷教育委員)

GIGAスクール、コミュニティ・スクール、SDGsなど、私が数年前まで知らなかった活字が出てきたという認識でいる。そのようなものを盛り込んだ素晴らしい大綱になったと思っている。

冒頭、市長が話されたように、GIGAスクールのタブレットに関しては、付き合い方で有用になると思うし、活字との距離感のバランスをとることが難しいと私自身も親として感じています。

(藤原市長)

そのような社会になったときにどのようにやっていったらよいか。子供たちにとっては、ぜひとも社会に出た時には必要で、そういう世の中に送り出すこととなるので、どのぐらい訓練しながらやればよいものか、また、それだけやっていれば麻薬と同じということになるものと思います。

(鳩岡教育長)

今コロナが岩手県でも400人、500人とされていますが、1年前はもしかすれば二戸市が第1号になるのではないかと我々は思いました。記者会見の用意が必要だと。まずは事なきを得ましたが、あの時は校長に7時に集まってもらったり、そういう意味では教育委員会としては学校の絶大なる協力をありがたいことだと思っています。私もこの職を拝命して4名の委員にはお世話になっており、ありがたいと思っています。また、職員も非常に優秀な人材を配置していただいております、ありがたいと思っています。

今度の基本計画をご覧いただきたいと思いますが、これを作るにあたってはとにかく見やすいようにしようということを考えております。58、59ページに表がありますが、できるだけ罫線が邪魔をしないような表を作りました。両脇に罫線を入れない、同じ罫線を使わないなどは職員の工夫です。また、SDGsですが、この間の議会で問題が出ましたが、

だからということではなく、我々はすでに 54、55 ページにこういう形で、教育委員会の施策がどの項目に当てはまるか分かるように入れております。これもすべて職員の発想によるもので、私自身も心強く思っておりますし、優秀な職員に支えられているという思いでおります。

一方では、総合計画の審議会である委員から人づくりというのは上から目線ではないかという意見がありました。実はこの人材育成という言葉は、教育委員会は気を付けなければならないと思っております。市長部局が使うことは全くかまいませんが、教育委員会が使う場合は慎重にしなければならないと思っております。私自身もひと頃は、教育とは良き納税者を作ることだと、そうすれば社会は安定し、犯罪は起きないだろうと思っておりましたが、最近は違ふと強く思っております。

教育基本法を改めてひも解くわけですが、教育の目的は人格の形成にあると、役に立つ人間を作ることではないのです。人材育成とは役に立つ人を作るという意味があるのですが、そうではないと改めて思い知らされております。おそらく現場の教員は誰一人として役に立つ人間を育成するために教育するとは思っていないと思います。やはり、人格を形成するためという広い意味で私は教育をしているのだらうと思っております。我々も、委員会として学校を預かる立場にあるわけですが、このことは忘れてはいけないと思っております。

先ほど、市長が言われました日報の社長さんがタブレット、タブレットとなると心配があると、まさに私も同感であり、結局はタブレットを使い、デジタル化しろというのはどこからの声かという、実は経済団体なのです。国際協力を課すと。そうでないと、国力が豊かにならないという発想から来ておりますので、そこは冷静に一步引いた気持ちでいかなければいけないのではないかと最近強く思っております。学校にはしっかり研修をするようにハッパをかけておりますが、根っこにはしっかり思ってやらなければならない。デジタル化が進めば進むほど強く考えなければなりませんし、学校の教員も我々教育委員会事務局も考えなければならないことだと思います。そこは市長部局と教育委員会との違いはある意味では明確と思っております。そこは教育委員会思いを一つにしていかなければならないと考えております。

(藤原市長)

SDGs では、一人も取り残すことなくということで議論されるのですが、よく 55 ページに入れたなと思っておりました。こういうのが出てくるのであれば、こういうのを基本としながら、我々はこういうところに位置付けられるということを考えていかなければならないと思います。

(鳩岡教育長)

今、高校でもやっていますので。ややこじつけているところがないわけではないのですが、これは事務局が丁寧に拾い上げたものでかなり時間はかかったと思います。まったく、私の発想外なことでしたので非常にありがたいなと思えました。これを見た時にやるものだたと正直思いました。

(藤原市長)

二戸の中で700いくつかのアクションプラン、事業があって、それに評価を付けながらやっているのですが、それら全部がSDGsのどれにかに係わっていく事業になるものと思っております。

あとは、子供の泣き声や、若いお母さん方には、なかなかそこに力を入れてだけでは人口減少の歯止めをかけられないと思います。今はトータルで働く場所などセットでやって、二戸市の人口減少の進む度合いを遅らせることしかないと思います。

例えば、荒谷さんが農業で雇用を生んだり、農産物を売ったり、それぞれ皆さんが持っている技術を広く活かしていただきながら、二戸は良いところだと広く情報発信していただければ、ますます盛り上がっていくのかと思います。九戸城もどんどん変わって素晴らしくなっていくと思います。岩谷橋ができて、裁判所が移転するとまちづくりができてまいりますし、浄法寺でも支所の前に浄心園が建築され、交番が集約されております。浄法寺小のスクールバスは、浄法寺支所で降ろして、そこから歩いて学校へ登校しています。これは槻館委員が金田一の学校で行ったことに端を発したことだと聞いておりますが、そういう一つ一つが子供たちの良い面が成長しているのではないかと考えております。

この他、街中のハード面の部分でお考えがあれば教えていただければと思います。

(槻館委員)

通学路になっているところが、空き家、老人世帯になっています。今は近所の方々に降雪の対応をしていますが、だんだんその方々も高齢になり動けなくなるだろうと思います。今でも車道にはみ出ておりますが、空き家の対策と、高齢化に伴う除雪について若い力が欲しいということです。中学校でスノーバスターを組織したことがありましたが、うまくいかなかったのですが。

金田一小学校の入り口は素晴らしくなりました。長年の懸案事項が一気に解決しました。

(藤原市長)

除雪については感じます。金田一だけではなく、小中高校生が通学する三幸堂の前のおりもツルツルになっています。ただ、そのような狭い道路でどのようにして排雪するかということになります。極力、通学路の安全安心を考えていかなければならないと感じています。

小保内市長は、生徒が登校する前にスコップで家から岩谷橋まで押して、阿部繁孝さんのあたりにおいて、帰りに持っていくということをやっていたみたいです。誰かがそこで一生懸命やってくれる人がいなければならないですね。皆さんほかの町内会までやるというところまで行っていませんね。

(菅原委員)

岩谷橋の工事はだいぶ期待をしております。昔は、雪が積もると橋の欄干が下になり、自分が落ちるのではないかと考えておりました。福岡小学校の周辺はどこから上がってき

でも狭い道路で、皆さん気を付けて上がってきております。道路の色を塗っているようですが、そのような取り組みしかできない地域です。中央小学校の入り口も狭いですし、車が入る道路とは別であればよいのですが、難しいと思いますのでそこが心配なところです。

(藤原市長)

まちづくりをする中で、一番歩道が少ない街だと言われております。県道部分も歩道を付けたり拡幅したりすればよいのですが、二戸一戸線の場合、歩道を付ければ田町以降は片側の家が全部なくなると言われています。歩道の要望はいつもしているところですが、何もなければ、長嶺の郵便局のところのように大変良くなるのですが、極力、何かの工事に合わせながらやっていくしかないと思っています。

福岡プリント社から上ってくるところは色で分けて、30km以上ださないでくださいとしているところです。

(佐々木委員)

浄法寺には、秋口から話題になっている“うろこ滝”があります。お願いします「うろこ滝はここ」という大きな看板を設置して欲しいです。今あるものは小さいと思っております。かなりの人が来ております。どのように行ったらよいですかと聞かれますが、説明に困ってしまいます。お金をかけてということではありません。

二戸市のホームページは大変おしゃれで素敵なのですが、自分が入っていきたくところになかなかとどり着けないと感じております。今、二戸市は検索する人も多いと思いますが、私世代でも検索してとどり着けるようにしてほしいです。

(藤原市長)

うろこ滝については、ブームが去る前にどういう看板が良いか考えさせてください。ホームページについては田中館部長から。

(田中館総合政策部長)

ホームページについては、リニューアルをしてフェースブックも載せながら、いろいろな情報をとれるようにしました。限られたスペースでスマホからも見られるようになると、表に出るところのスペースは多く取れないわけです。ですから検索機能をかなり充実させていますので、見たいものをトップページから検索していただきたいと思っております。前はなかなかヒットできなかったのですが、限られたスペースの中でやらざるを得ないということで、良いものを充実させたということでよろしく申し上げます。

(鳩岡教育長)

検索場所が大きく、わかりやすいと良いかもしれません。

(藤原市長)

可能であれば次の時にでも考えておいてください。

(荒谷委員)

先ほど槻館委員も言いましたが、空き家の件では駅前で壁が落ちたという話を聞いているので、人的被害が出る前に対応したほうが良いと考えております。あとは、普段から話していますのでよろしいです。

(藤原市長)

空き家については、壊す空き家と使える空き家と貸さない空き家など区分けしていく必要があると考えています。壊す空き家については、条例を作って壊すことができるようになりましたので、危ない場合にはそういう措置をとっていかねばならないと思います。

空き家については、空き家になってから空き家をどうするかではなく、自分がいなくなったらどうするかという、空き家になる前の対策も必要になってくると思います。事前に登録できるようなことも考えていかねばならないと考えていました。

その他ありますか。

《「なし」の声あり》

(藤原市長)

事務局お願いします。

(玉懸教育部長)

多様なご意見ありがとうございます。貴重な情報交換の場でありました。また、定例会からとなりましたので長時間お疲れ様でした。

これを持ちまして令和2年度第2回二戸市総合教育会議を閉じたいと思います。ありがとうございました。